

【現地取材】おきた林業祭が開催されました

令和8年6月28日(日)、3回目となる「おきた林業祭」の様子を取材しましたのでお知らせします。

〔おきた林業祭とは〕

子どもたちに「もっと林業のカッコよさを知ってほしい」「もっと林業を身近に感じてほしい」をスローガンに2024年から一関市大東町興田地区で始まったお祭りです。

一関市興田地区は、森林資源が豊富で自伐型林業などが行われている地域で、住民や子どもたちに林業を身近に感じてもらいたいという想いで「興田地区振興会」、林業関係者を中心に企画・開催しています。(センターHPより)

〔当日の様子〕

林業祭当日は、台風の影響が心配されましたが、好天に恵まれ、気温も30℃近くに上がった中での開催となりました。

●屋外会場 伊勢館公園

公園内のグラウンドには、グラップルとハーベスタの林業用重機操作体験コーナーが設けられ、大人も子供も希望者が列をつくっていました。また、高さ22mの高所作業車搭乗体験、チェーンソーアートの実演、チェーンソープロ機の展示など普段接する機会の少ない展示内容に来場者は興味津々でした。



●室内会場 大東開発センター

建物内では、木工体験(リース・コースター)スペースがあり、幼児たちが思い思いの作品作りに集中していました。

チェーンソー事故VR体験コーナーでは、目の前で飛び跳ねる伐倒木に驚き声をあげる子供の姿がありました。



いわて林業アカデミーのコーナーでは、チェーンソーなどの玩具を展示し、未来の研修生をヘッドハンティングしていました。



地元民からは「地元(興田地区)以外の人が多く来場しているようだ。」との話もあり、“林業”をキーワードに興田地区にとどまらないイベントになっていることを感じた一日でした。